

国語科学習指導案

授業者 広島市立五日市中学校
教諭 与座 淳

- 1 日時 平成22年11月26日(金)
- 2 学年・組 第1学年7組(男子15名 女子16名 計31名)
- 3 指導事項
 - (1) 読むこと エ
 - ・文章の構成や展開, 表現の特徴, 段落の役割や効果について考えながら読むこと。
 - (2) 言語事項 (1) エ
 - ・単語の類別について理解し, 指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。
- 4 単元名 『未来をひらく微生物』
- 5 言語活動
 - ・文章を読み, 構成や展開, 段落の役割などに注意して, 文の並べ替えをする。
- 6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・内容に興味・関心をもち, 集めた情報を日常生活で得た知識や体験との関わりを考えながら読み進めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開, 表現の特徴に着目し, 段落の役割や効果を考えながら文章を読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句に注意して読んでいる。

- 7 単元について
 - 児童生徒の状況

文章の大まかな内容はとらえられるが, 具体的な根拠を挙げて答えたり, いくつかの選択肢から答えを絞って説明したりする力が弱い。接続詞や, 段落と段落の接続関係に着目して読むことはまだ学習していない状況である。
 - 教材の価値

科学的な根拠に基づいて書かれた文章であり, 図や表, 具体的な例を効果的に用いており, 文の流れも明確で読みやすい。

接続詞やキーワード的な言葉が多くあり, 内容に加えて, それらに着目して読み取ることで文章展開や構成を理解しやすくなっている。そのことによって, 生徒が文章の展開の仕方に気づき, 自分の考えを持つことができる教材である。
 - 指導の工夫
 - ・ばらばらになった文章を拡大したものを黒板に掲示し, みんなの目に触れるような工夫をする。
 - ・あえて教科書は開かず, その授業に必要な文章はプリントにすることで, 生徒が教材に新鮮な気持ちで向き合えるようにする。
 - ・接続詞や指示語, キーワードに注目するための付箋や学習プリントを準備する。
- 8 単元の学習と評価の計画
 - *準備物 学習プリント 本文を拡大したシート

時	学習活動(評価方法)
1	題名読みをする。微生物について知る。(①～④段落) [プリント・発表]
2 3	①～⑦段落の構成を考える。内容の要旨をとらえる。[プリント]
4	⑧～⑫段落の並べ替えをして, 構成や展開, 段落の役割・効果について考える。[プリント] ☆本時
5	段落⑬～⑯の要旨をとらえ, 図や絵を用いながら内容を要約してみる。[プリント・発表]
6	段落⑰・⑱(まとめ部分)を読み, 筆者の意見をまとめる。文章の構成や展開, 内容などについて自分の考えを文章で表す。[プリント]

9 目標

○ 文章を正しい順番に並べ替えることによって、文章の展開や構成などに気をつけながら読む力をつける。

10 学習展開

過程	学 習 活 動	指導上の工夫・留意点	評価規準・評価方法
確認 意欲付け	1 前時に行った学習活動を振り返る。	○前時に行った段落の小見出しを発表させる。	関 プリントを見て前時に学習した内容を確認して発表している。
展開 1	2 学習方法を確認する ・ 配られた文章(教科書P130・12行～P132・13行)があらかじめバラバラになっている(*カードにしてある)ことを知る。 カードを並べ替えて正しい順序にすることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 接続詞や指示語, キーワードを手がかりにして文章を並べ替え, 文章の展開をつかもう! </div> 3 最初に個人で考える。 班隊形にして並べ替えをする。 班活動	○実際にシートを前に貼らせて意見を言わせることで, 生徒が目的意識を持って学習に参加できるようにさせる。 Cへの支援: 接続詞やキーワードに印を入れさせる。共通している言葉を探させる。	言 A: 文章の中の段落の役割や段落内の各文の接続関係などを考えて読んでいる。 B: 文章の展開に着目して読んでいる。
展開 2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> なぜ自分たちのグループはその順番にしたか, 理由や根拠を明らかにしよう。また, う〜んと悩むところがあればそれを書いてみよう。 </div> 4 並べ替えの順番を発表する。縦長の模造紙に書いて前に貼る。*あらかじめ模造紙とマジックは配布しておく。 5 並べ替えの理由を発表する。	○「だが」「そこで」の順番について考えさせる。 ○プラスチックの問題点→新しいプラスチック『生分解性プラスチック』の開発という流れをおさえる。 Cへの支援: どのように段落と段落がつながっているのかを考えさせたり, 自分なりに説明させたりすることで, 考えを持たせる。 ○10段落の始め「この製品」という言葉が生分解性プラスチックと結びつきにくいという生徒がいたら, 生徒にどのような表現ならわかりやすいかを考えさせて発表させる。	読 A: 本文の○○の言葉があるから△△になるという風に根拠を挙げて説明をすることができる。 B: 発表は出来なくても, 自分なりに考えて並べ替えができています。
日常化 一般化	6 本時の振り返りをさせる 今日の学習で分かったことや気づきなどを発表する。	○今日の学習内容と, 学習して分かったことを発表させる。	

